



試験所認定制度とは？

公益財団法人 日本適合性認定協会 (JAB)

試験とは？

- 「試験」というと私たちは学校の試験などを思い浮かべます。
- ここで言う「試験」とは決められたやり方で、あるものの特性を決めることです。
- 私たちの周りにも試験を受けているものが数多くあり、私たちの生活はそれらのものによって支えられています。



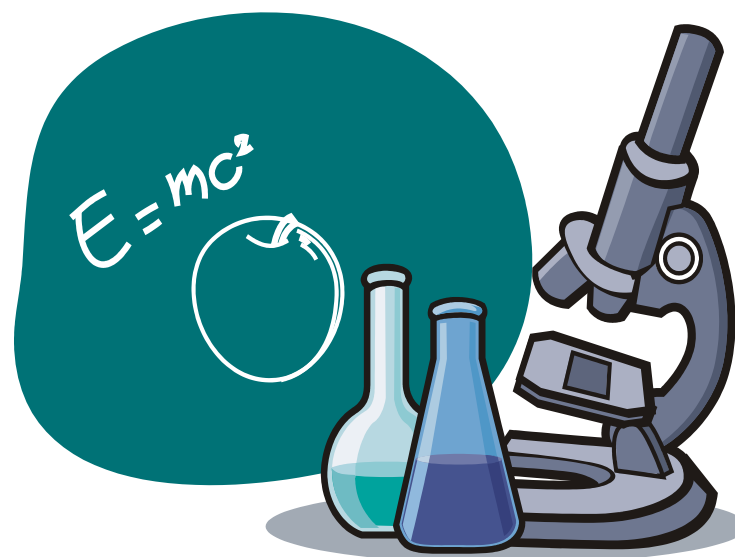
試験は社会生活の基本

- 地域の環境汚染が進んでいないかを分析することも試験の一つです。
- このほか、私たちの社会生活の中のいろいろな場面でいろいろな試験が実施されています。



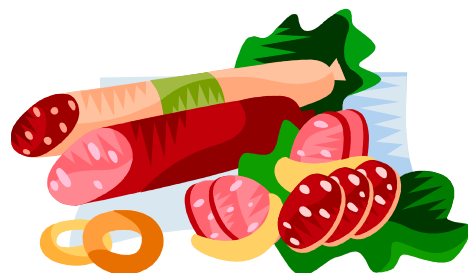
試験所とは？

- 試験所とは、いろいろな目的でいろいろなもの(製品や原材料など)を試験するところです。



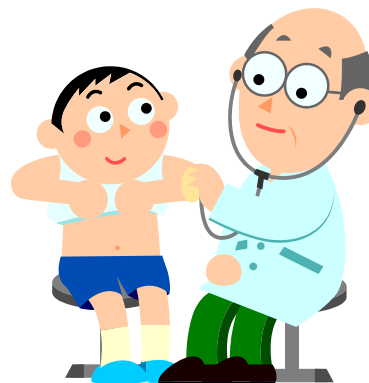
試験の果たしている役割

- 試験所の試験結果は、いろいろな場面で重要な役割を果たしています。
- 例えば、ある製品を製造している企業の製造途中で、製品が設計通りに作られているか試験し、欠陥品を出荷しないようにします。
- また食品等が消費者にとって安全かどうか判断するために試験する場合があります。



試験の重要性

- 私たちの生活を支えている様々なものの試験データが正確でなかったらどうなるでしょうか？
- 特に環境、人の安全に関わる場合は、重要な問題に発展する可能性があります。例えば食品の安全性試験、医療診断のための試験データなどが正確でない場合、深刻な問題になることは容易に想像がつきます。



試験所に求められるもの

- このため、試験所が出すデータは正確で、信頼できるものでなければなりません。
- 正確で信頼できる試験データを出すためには、試験所は技術的能力があり、公平・公正である必要があります。
- 技術的には正確な試験が出来ても、試験の依頼者にとって都合がよい、偽りのデータを報告しては意味がありません。



試験データの信頼性

- 例えば消費者が、製品に添付されている試験データが信頼できるものかどうか、どうすれば判断できるでしょうか。
- 試験を行った試験所のデータが信頼できるものかどうかを判断する物差しが必要となります。
- そのため誰かが、あなたの代わりに誰もが認める基準で試験所の技術的能力、公平・公正さを確認し、その結果をわかりやすく公表する必要があります。



試験所認定制度とは？

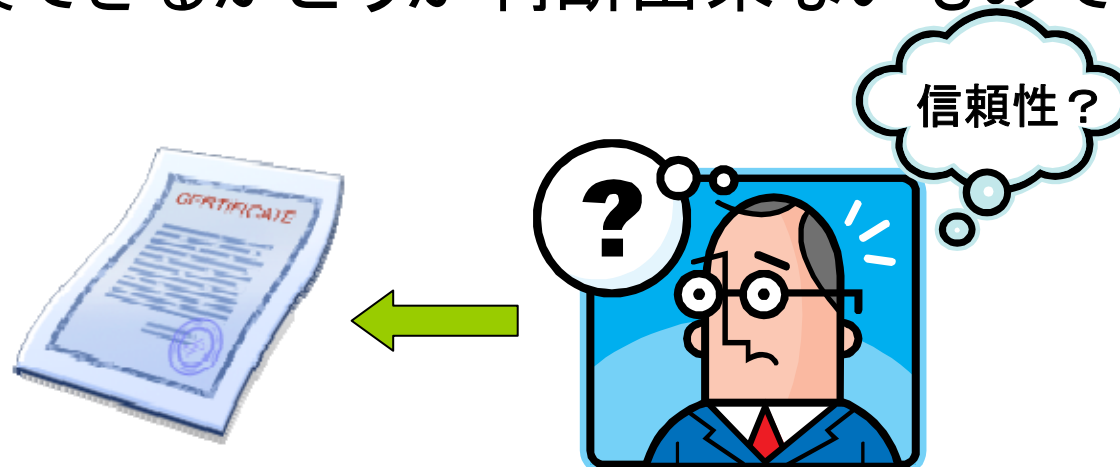
- 試験所認定制度は、試験所が目的の試験に関して能力があるかどうか、公平・公正かどうかを国際的な基準でその分野の一流の専門家が評価し、認める(認定する)制度です。



- その認定結果は、試験所認定を行っている認定機関のウェブサイト等を通じて公表されます。

信頼できる試験所の見分け方

- 試験所認定を受けた試験所が信頼できるとしても、認定を受けている試験所であることがもっと簡単にわかる方法はないでしょうか。
- その分野の専門家でなくても、試験報告書を一目見て、その試験データ及び報告書を出した試験所が信頼できるかどうか判断出来ないものではないでしょうか。





認定機関のマーク

- 試験所認定機関によって認定された試験所は、認定機関のマークを付けることが許されます。
- すなわち試験報告書に認定機関のマークがあれば、その報告書は認定機関によって能力のあることが確認された試験所で試験し、作成されたことが一目でわかります。



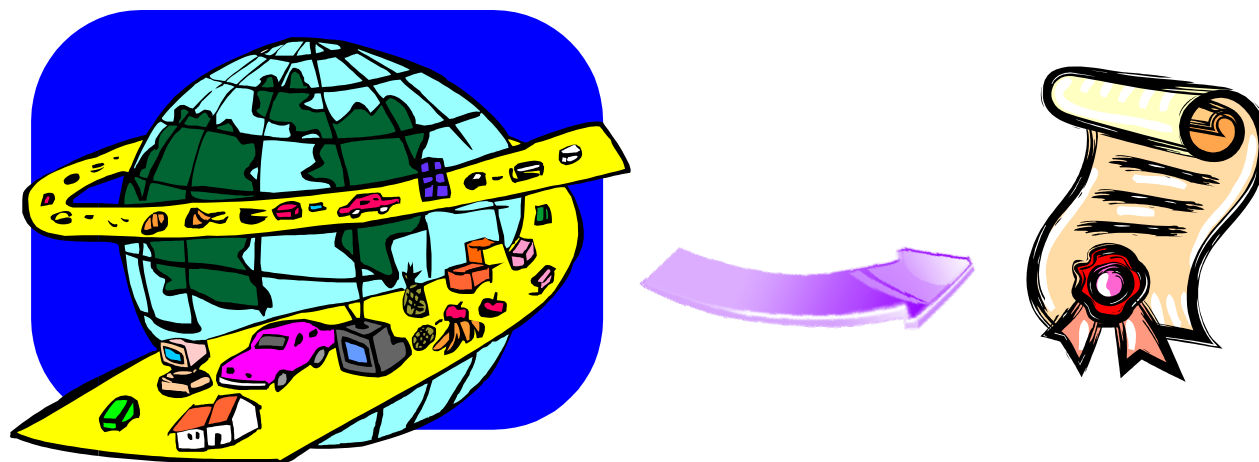
JAB
Testing

RTLXXXXX

認定機関のマーク

輸入品はどう見分ける？

- 輸入品に添付される試験報告書は、日本の試験所によって作成された報告書ではない場合が往々にしてあります。
- その場合でも日本国内のものと同様に見分ける方法はないでしょうか。



国際的な仕組み

- 従来から、国際的に各国の試験所認定機関が集まり、お互いの能力を確かめ合う活動を行っており、信頼できる試験所認定機関は、同じ国際基準を使い、同じ方法で試験所の評価をしていることを認める「お互いを認め合う取り決め」に参加することが出来ます。
- 「お互いを認め合う取り決め」に参加している認定機関は、能力が国際的に同等であると認められます。



取り決めの証

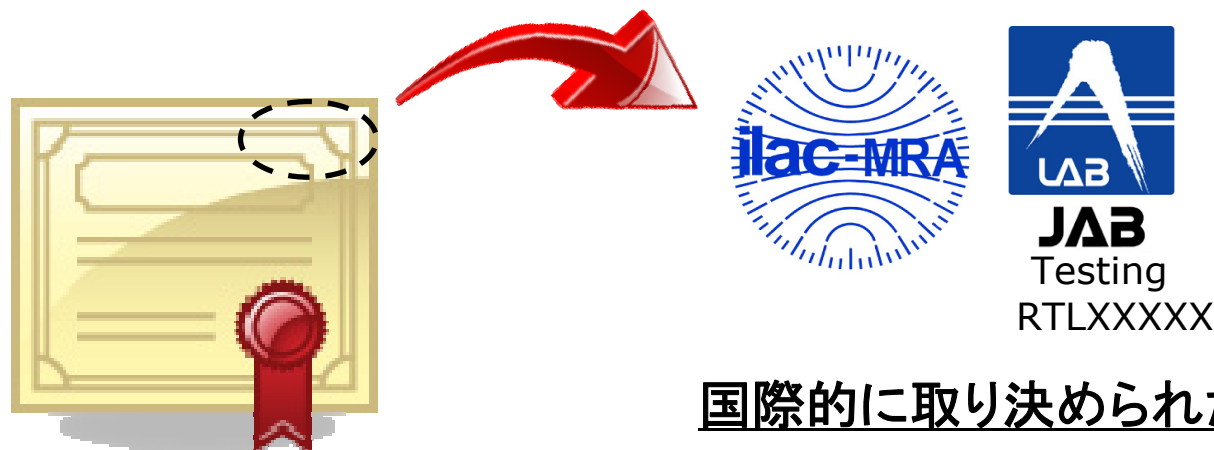
- 「お互いを認め合う取り決め」に参加している認定機関が認定した試験所は、その証である国際的に取り決められたマークを付けることが許されます。
- すなわち試験報告書にそのマークがあれば、その報告書は「お互いを認め合う取り決め」に参加している認定機関によって能力等が確認された試験所で試験し、作成されたことが一目でわかります。



それなら分かり
易いね。

信頼のしるし

- JABは「お互いを認め合う取り決め」に参加しており、認定した試験所は国際的に取り決められたマークを付けることができます。
- このマークがついている試験報告書は、国内のものか国外のものかを問わず、信頼できます。



国際的に取り決められたマーク

国際的な仕組みの裏付け(1)

- 日本も含めた世界の150カ国以上が世界貿易機構(WTO)のもとで、「貿易の技術的障害に関する協定(TBT協定)」に参加しています。
- この協定では国際貿易の促進のため、輸入品の評価に関して国際基準を尊重した評価の仕組みの実施を強く推奨しています。



国際的な仕組みの裏付け(2)

- この結果、輸入に関する以下のような仕組みが各国で確立され、世界に広がっています。
 - ・輸入品の評価の国際基準を、国の標準とする。
 - ・認定の手続きの国際基準を、国の標準とする。
 - ・輸入品の評価の手続きが、国際基準に合っているかどうかを認定機関が審査する。
 - ・それぞれの国の政府は、必要な場合には法的手続きを行い、相手国で認定された結果を活用する。



国際的な仕組みの裏付け(3)

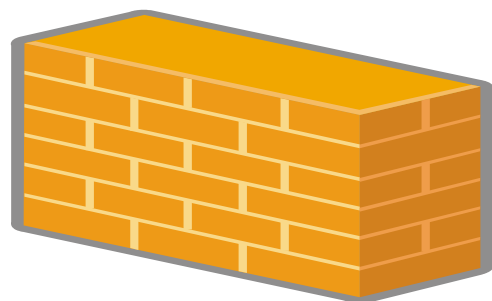
- この仕組みに基づき、「お互いを認め合う取り決め」がつくられています。
- このため「お互いを認め合う取り決め」に参加している認定機関が認定した試験所の試験報告書は、輸出に当って輸入側の顧客から信頼を持って受け入れられることとなります。
- 輸入側の顧客は改めて費用の掛かる試験を行う必要がなく、結果的に国際貿易の促進に役立つこととなります。



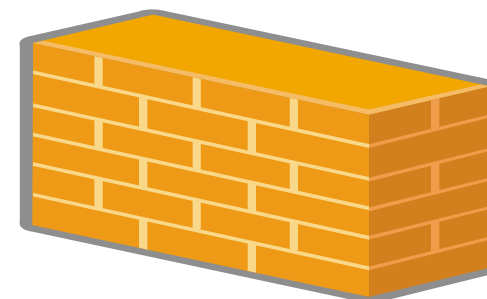
国際的な仕組みの裏付け(4)

- 日本国内でもこの仕組みに基づき民間の試験所認定制度がつくられ、国際基準による評価が実施されています。

海外市場への参入



国際基準による評価の
信頼できる証明



制度の政府活用

- 日本国内でも、試験所認定制度が政府に活用され始めています。
 - ・日本と欧州、シンガポール及び米国との間の法律で、JABの試験所認定制度に基づいた調査結果が政府に活用されています。



縁の下の力持ち

- このように試験所認定制度は、直接目にするのが少ない制度ですが、皆さんの安全・安心に深く関わっている縁の下の力持ちのような重要な制度です。
- 例えば食品等の包装の一部に分析結果が表示されているような場合、試験所認定を取得しているかどうか、その製造元に確認してみてください。
- このような消費者の関心が、重要な制度の拡大につながることとなります。





日本の認定機関

- 問い合わせ先はJABを含め以下の通りです。

(公財)日本適合性認定協会 (JAB)

email: info-lab@jab.or.jp

製品評価技術基盤機構認定センター(IAJapan)

email: iajapan-info@nite.go.jp

(株)電磁環境試験所認定センター (VLAC)

電話: 03-3568-2152

